

南相馬市は福島県の北部、太平洋に面しています。東京電力福島第一原発の立地する双葉町・大熊町に近く、3・11 東日本大震災による巨大な津波の被害に加えて、原発事故による放射能汚染にさらされました。その後、南相馬市は、帰還困難区域、居住制限区域と避難指示解除準備区域と居住可能区域とに分かれました。2016 年 7 月に全ての避難区域が解除となりましたが、20msV/h（福島以外は 1msV/h）以下なら居住可能とする、無謀な帰還政策によるものです。帰還が少しずつ進んでいますが、子どもはもちろん、全ての市民の厳密な健康管理が求められます。



（東京新聞2015.3.26の記事より）  
旬の有機野菜を毎週贈り続けています。

3・11 大震災と福島第一原発の爆発は、私たちにさまざまな問題を提起しています。原発が爆発し放射能が放出されて、私たちの住む千葉県北西部も汚染されました。放射能汚染がひどい地域では人が住めなくなったことは衝撃でした。

政府と原発関連業界からの「原発神話」には、いくつもの大嘘がありました（原発がないと電気は足りない。クリーン。安い。5重の壁で守られている。核燃料はリサイクルできる。放射能による健康被害はない等）。加えて、原発は正常に運転していてもそのメンテナンスには作業員の被ばくが避けられません。「原発と人間は共存できない」のです。福島原発事故を受けて、ドイツ・台湾などは原発からの撤退を決め、今、世界各国では自然エネルギーへの転換が進められています。私たちは、被災者支援・福島支援とともに、原発ゼロと足元からの自然エネルギーへの転換を進めていきます。